

安全保障理事会



シャガールの窓(ステンドグラス):平和と人類の幸福というテーマを描いたマルク・シャガール(フランス)によるこの作品は、総会ロビーの西側に置かれています。

国連憲章によると、安全保障理事会の第一の責任は、平和と安全を守ることです。理事会は平和が脅かされた場合、いつでも招集することができます。加盟国はその決定を実施する義務を負います。平和に対する脅威の問題が付託された場合、理事会は通常、平和的手段によって合意に達するよう、まず当事国に要請します。戦闘が発生すると、理事会は停戦の確保に努めます。理事会はその上で、平和を回復するために、紛争地域に平和維持部隊を派遣したり、経済制裁や禁輸措置を求めたりします。

安全保障理事会は15カ国で構成されますが、そのうち中国、フランス、ロシア連邦、英国および米国の5カ国は常任理事国です。非常任理事国10カ国について

は、地理的配分を考慮にいれて、総会が2年の任期で選出します。決定を行うためには9カ国の賛成が必要ですが、手続事項を除き、常任理事国が1カ国でも反対票を投じれば決定を行うことができません。これがいわゆる「拒否権」として知られているものです。理事会を拡大し、新たな常任・非常任理事国を加えることを望む国も多くなっています。

安全保障理事会議場は、ノルウェーのアルンスタイン・アルネベルク的设计によるもので、ノルウェー政府から寄贈されました。ペール・クローグ(ノルウェー)による大きな壁画が東側の壁のほぼ全体を覆っています。それは未来の平和と個人の自由の約束を象徴したものです。傍聴者用に164席と、プレス用に118席が設けられています。

